

# 文芸 さくらがわ

## 俳句

【桜川市岩瀬「萩」俳句会】

冷まじや文箱に夫の残し文

鈴木 たか子

柿落ちて貉鳴き交ふ闇の底

小林 啓治

バス停の時刻まばらに草紅葉

萩原 勲彦

吾にまだ又銃の記憶胡麻を干す

藤田 凡鐘

子等の声遠くにありて望の月

小林 フク

柿の葉に昨夜の雨粒小鳥くる

三代 みちよ

五七忌の隣家の漏れ灯ちちろ鳴く

若色 寿美女

髪型を変えて初秋の小旅行

金田 とう女

わが膝に寄る猫親し終戦忌

渡辺 いし

夕顔のひらく刻待つ無の時間

入山 ひろ子

秋の蠅鈍る老いの手もてあそぶ

永瀬 ちい

水の声地の声雨の返り花

細谷 充女

遺言を書こうか宵の天の川

萩原 きしの

【茂山俳句会】

筆まめな友の絵手紙秋さくら

田崎 信子

秋といふ安らぎを知る翳りかな

今井 繁子

帰燕して軒に空しさ置き去りに

海老沢 静夫

名月を池に写して無人駅

向後 礼子

花野より花野へ漕げる車椅子

松崎 いま

刈り後の野辺広々と天高し

大関 くに

覚めてすぐ筑波見る癡鯛雲

鈴木 ノブ子

看取りたる十指いたはり夏果てぬ

宮本 芳江

狗尾草見えない風を見せてをり

吉原 秀子

花野来てひとりに余る夕ごころ

井坂 洋子

踏み出せし八十路の宵や虫時雨

笠倉 陽子

秋夕焼似顔描く石捜しけり

泉 健作

釣好きに鯿跳ねてゐる寂峰忌

竹林 てる

そろそろと座敷へ上がる秋日かな

鶴見 菊江

鳴く声のさびしさ籠る帰燕かな

植田 祥雲

父母の世は火を豪勢に鎌祝

飯山 昭

【一般投稿】  
遠火花ぐずいう孫を支えつゝ、

廣瀬 宣

## 俚謡

【さくら俚謡会】

村の鎮守の祭りの宴皆んな笑顔で和む里

岩瀬 きみ子

寒くないかと男がぼつり肩にしぐれのおんな橋

稲葉 建正

心浮れる錦繡の衣燃える里山しぐれ月

田 哲人

有料広告掲載募集中!

お問い合わせは、秘書広報課へ ☎58-5111・75-3111、内線1268

広報 さくらがわ

運転免許

18歳限定特別キャンペーン実施中  
(1月1日～4月1日生まれの方も入校予約で適用)

12月28日までに入校された方

特別価格で免許取得を応援!

お問い合わせ

公認 明野自動車学校

ホームページ <http://www.areaguide.jp/akenods/>

☎0296

(52) 2811

土、日OK、夜8時まで教習、  
送迎バスあり(無料)、  
ローンあり

